

149	款・項・目	8・1・1	目名	土木総務費	目の決算額	121,478,697	149																																																																								
	細事業名	3・1 財産取得事業																																																																													
	細事業コスト	9,597,574	【うち人件費 7,944,838 うち減価償却費 267,697 】																																																																												
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 道路 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 機能が拡充されています。																																																																														
評価指標	指標名	R1年度実績値	／	R1年度計画値	単位																																																																										
	寄附採納	11	／	10	件																																																																										
	用地買収	8	／	30	件																																																																										
実施内容	<p>1 狭あい道路等の解消 道幅の狭い生活道路の拡幅及び隔切り用地を確保することで、緊急車両等の通行が円滑にできるよう、良好な住環境の改善に努めました。 ※狭あい道路整備制度を新設（H27年度より）</p> <p>2 道路用地の取得 市道等の拡幅整備に伴い、道路用地を地権者からの寄附又は買収により取得しました。取得後は市に所有権を移し、適正な管理を行いました。</p> <p>3 道路内民地の解消 道路内に存在する個人名義の土地を、寄附又は買収により取得しました。取得後は市に所有権を移し、適正な管理を行いました。</p> <p>寄附採納</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>筆数</th> <th>面積（㎡）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>13</td> <td>27</td> <td>1,588.89</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>7</td> <td>12</td> <td>418.20</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>11</td> <td>18</td> <td>402.92</td> </tr> </tbody> </table> <p>寄附採納のうち狭あい道路用地</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>筆数</th> <th>面積（㎡）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>169.86</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>21.50</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>121.37</td> </tr> </tbody> </table> <p>用地買収（狭あい道路用地以外）</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>筆数</th> <th>面積（㎡）</th> <th>金額（円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>24.74</td> <td>1,151,392</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>63.38</td> <td>1,005,928</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3.39</td> <td>124,252</td> </tr> </tbody> </table> <p>狭あい道路用地買収</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>筆数</th> <th>面積（㎡）</th> <th>金額（円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>6</td> <td>12</td> <td>101.68</td> <td>4,710,739</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>48.76</td> <td>2,606,974</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>65.93</td> <td>3,660,746</td> </tr> </tbody> </table>								件数	筆数	面積（㎡）	H29	13	27	1,588.89	H30	7	12	418.20	R1	11	18	402.92		件数	筆数	面積（㎡）	H29	6	10	169.86	H30	3	4	21.50	R1	3	6	121.37		件数	筆数	面積（㎡）	金額（円）	H29	3	3	24.74	1,151,392	H30	1	2	63.38	1,005,928	R1	2	3	3.39	124,252		件数	筆数	面積（㎡）	金額（円）	H29	6	12	101.68	4,710,739	H30	5	6	48.76	2,606,974	R1	6	8	65.93	3,660,746
	件数	筆数	面積（㎡）																																																																												
H29	13	27	1,588.89																																																																												
H30	7	12	418.20																																																																												
R1	11	18	402.92																																																																												
	件数	筆数	面積（㎡）																																																																												
H29	6	10	169.86																																																																												
H30	3	4	21.50																																																																												
R1	3	6	121.37																																																																												
	件数	筆数	面積（㎡）	金額（円）																																																																											
H29	3	3	24.74	1,151,392																																																																											
H30	1	2	63.38	1,005,928																																																																											
R1	2	3	3.39	124,252																																																																											
	件数	筆数	面積（㎡）	金額（円）																																																																											
H29	6	12	101.68	4,710,739																																																																											
H30	5	6	48.76	2,606,974																																																																											
R1	6	8	65.93	3,660,746																																																																											
事業の評価	妥当性評価	道路法により市が管理することが定められているため、市が実施すべき事業です。																																																																													
	有効性評価	土地所有者の理解協力により、適正な道路管理に努めることができました。																																																																													
	効率性評価	狭あい道路の申出及寄附採納願の受理後、迅速に処理を行い、効率的な道路管理を行いました。																																																																													
事業費	11,407,863	左の財源内訳																																																																													
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																										
		4,095,000	0	1,900,000 (基金1,900,000)	5,412,863																																																																										

主要事業No 147

主要事業No 147

150	款・項・目	8・1・1	目名	土木総務費	目の決算額		150																																																																				
	細事業名	2・1 財産管理事業																																																																									
	細事業コスト	794,716,032 【うち人件費 34,551,134 うち減価償却費 744,707,347】																																																																									
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）																																																																										
	道路及び水路 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 良好な状態が保たれています。																																																																										
評価指標	指標名		R1年度実績値	／	R1年度計画値	単位																																																																					
	道水路占用・使用許可、承認工事		1,103	／	900	件																																																																					
	道水路境界立会		279	／	200	件																																																																					
	廃道・水路の払下げ及び付替え		10	／	20	件																																																																					
実施内容	<p>1 道路占用連絡協議会 道路占用連絡協議会を2回開催し、工事期間等の調整を行うことで道路工事の効率化を図りました。</p> <p>2 道水路占用・使用許可（道路法や条例に基づき適正に新規許可、更新事務を行いました。）</p> <p>3 承認工事（工事の設計、計画について審査承認を行いました。）</p> <p>4 道路台帳の加除、更新（道路台帳の加除、更新を行いました。）</p> <p>5 道水路境界立会い（現地立会いを行い円滑に境界確定事務を進めました。） （桃山地区の不動産登記法14条地図作成業務の境界審査事務を行いました。）</p> <p>6 廃道・水路の払下げ及び付替え（廃道・水路の払下げ及び付替え事務を行いました。）</p> <p>7 車両制限令審査（制限値を超える車両通行の可否を審査しました。）</p> <p>8 街区基準点の管理（測量に使用する街区基準点を適正に維持管理しました。）</p> <p>各項目の実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施項目</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2 道水路占用・使用許可件数</td> <td>866</td> <td>836</td> <td>1,019</td> </tr> <tr> <td>3 承認工事許可件数</td> <td>59</td> <td>74</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>925</td> <td>910</td> <td>1,103</td> </tr> <tr> <td>4 道路台帳の加除、更新件数</td> <td>63</td> <td>205</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>5 道水路境界立会い件数</td> <td>276</td> <td>291</td> <td>279</td> </tr> <tr> <td>7 車両制限令審査件数</td> <td>180</td> <td>152</td> <td>132</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>廃道・水路払下げ件数（現年度分）</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>筆数</th> <th>面積（㎡）</th> <th>金額（円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>13</td> <td>19</td> <td>631.35</td> <td>10,665,464</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>10</td> <td>17</td> <td>899.85</td> <td>29,651,324</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>廃道・水路払下げ件数（過年度分）</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>筆数</th> <th>面積（㎡）</th> <th>金額（円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>3</td> <td>13</td> <td>1,084.06</td> <td>20,603,108</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>8</td> <td>26</td> <td>1,855.62</td> <td>45,770,969</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>							実施項目	H29	H30	R1	2 道水路占用・使用許可件数	866	836	1,019	3 承認工事許可件数	59	74	84	小計	925	910	1,103	4 道路台帳の加除、更新件数	63	205	63	5 道水路境界立会い件数	276	291	279	7 車両制限令審査件数	180	152	132		件数	筆数	面積（㎡）	金額（円）	H29	13	19	631.35	10,665,464	H30	0	0	0	0	R1	10	17	899.85	29,651,324		件数	筆数	面積（㎡）	金額（円）	H29	3	13	1,084.06	20,603,108	H30	8	26	1,855.62	45,770,969	R1	0	0	0	0
	実施項目	H29	H30	R1																																																																							
	2 道水路占用・使用許可件数	866	836	1,019																																																																							
	3 承認工事許可件数	59	74	84																																																																							
	小計	925	910	1,103																																																																							
	4 道路台帳の加除、更新件数	63	205	63																																																																							
	5 道水路境界立会い件数	276	291	279																																																																							
	7 車両制限令審査件数	180	152	132																																																																							
		件数	筆数	面積（㎡）	金額（円）																																																																						
	H29	13	19	631.35	10,665,464																																																																						
	H30	0	0	0	0																																																																						
	R1	10	17	899.85	29,651,324																																																																						
	件数	筆数	面積（㎡）	金額（円）																																																																							
H29	3	13	1,084.06	20,603,108																																																																							
H30	8	26	1,855.62	45,770,969																																																																							
R1	0	0	0	0																																																																							
事業の評価	妥当性評価	道路法により市が管理することが定められているため、市が実施すべき事業です。																																																																									
	有効性評価	桃山地区の不動産登記法14条地図作成業務において、官民境界審査を行い、使用及び管理に必要な道水路用地の確保ができました。																																																																									
	効率性評価	道路占用連絡協議会を開催し、重複工事の解消及び適切な迂回路の調整を図りました。																																																																									
事業費	左の財源内訳																																																																										
	19,036,614	国県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																						
		0	0	0	19,036,614																																																																						

主要事業No 148

主要事業No 148

151	款・項・目	8・1・1	目名	土木総務費	目の決算額		151																
	細事業名	5・1 土地取引事務事業																					
	細事業コスト	5,441,260 【うち人件費 4,855,179 うち減価償却費 431,027】																					
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 国土利用計画法に基づく土地利用をする届出者 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 申請書類を迅速に処理します。																						
評価指標	指標名	R1年度実績値	／	R1年度計画値	単位																		
	国土利用計画法受付件数	44	／	5	件																		
	遊休土地調査依頼件数	0	／	6	件																		
	公拡法の受付件数	7	／	5	件																		
実施内容	1 国土利用計画法に基づく届出を受け付け、関係各課の意見をまとめ県へ報告しました。 ※愛知県から権限移譲を受け平成29年4月から市の業務になりました。																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施項目</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市街化区域（2,000㎡以上の土地取引件数）</td> <td>8</td> <td>40</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>市街化調整区域（5,000㎡以上の土地取引件数）</td> <td>56</td> <td>102</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>64</td> <td>142</td> <td>44</td> </tr> </tbody> </table> <p>※上記に示す面積規模の利用を図る土地において、各筆を所有する地権者が契約書毎に提出する届出件数</p>							実施項目	H29	H30	R1	市街化区域（2,000㎡以上の土地取引件数）	8	40	26	市街化調整区域（5,000㎡以上の土地取引件数）	56	102	18	合計	64	142	44
	実施項目	H29	H30	R1																			
市街化区域（2,000㎡以上の土地取引件数）	8	40	26																				
市街化調整区域（5,000㎡以上の土地取引件数）	56	102	18																				
合計	64	142	44																				
2 国土利用計画法に基づく遊休土地の利用調査について、県からの依頼はありませんでした。 報告件数 なし																							
3 公有地の拡大の推進に関する法律の規定に基づく届出等を受け付け、関係各課の意見等をまとめました。																							
事業の評価	妥当性評価	国土利用計画法に基づき行う審査及び県への報告は、権限移譲により市が実施すべき事業です。																					
	有効性評価	市の土地動向を把握することができました。																					
	効率性評価	届出書等をPDFファイルにして、各関係課へ同時に照会することで、事務の短縮が図られました。																					
事業費	左の財源内訳																						
	53,436	国県支出金	地方債	その他	一般財源																		
		0	0	0	53,436																		

152	款・項・目	8・1・1	目名	土木総務費		目の決算額	152			
	細事業名	1・2 用地対策事務管理事業								
	細事業コスト	598,234	【うち人件費 441,379 うち減価償却費 12,561】							
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）									
	国県道用地・関係各課等 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 県の用地交渉業務をサポートすることで、国県道用地が確保されます。									
評価指標	指標名	R1年度実績値	／	R1年度計画値	単位					
	用地交渉	7	／	20	件					
			／							
実施内容	1 国県道等の用地契約締結									
	県と一体となって地権者との交渉に当たり、国県道の用地契約を締結しました。									
			路線名		H29		H30		R1	
			県道瀬戸大府東海線		—		—		—	
			県道大府常滑線		—		—		—	
			県道名古屋碧南線		2件 110.92㎡		—		—	
			国道155号（国道366号関連）		—		—		—	
			県道東浦名古屋線（森岡地区）		—		—		1件 86.03㎡	
			県道東浦名古屋線（木ノ山地区）		—		—		—	
			県道東浦名古屋線（半月地区）		—		—		—	
			県道東海緑線		—		—		3件 879.30㎡	
			県道名和大府線（田面交差点）		—		1件 325.98㎡		3件 771.16㎡	
		合計		2件 110.92㎡		1件 325.98㎡		7件 1,736.49㎡		
2 確定申告の支援										
道路用地の被買収者を対象に、確定申告日を別途設定し手続きを支援しました。										
確定申告日 令和2年1月31日										
対象者 11人										
出席者 1人										
3 用地事務に関する研修										
用地事務に関する研修に参加することで関係職員の能力向上に努めました。										
		実施項目		H29		H30		R1		
		用地事務研修		0回		1回		3回		
事業の評価	妥当性評価	国県道用地が確保され道路整備が進むことにより市内の車両渋滞の緩和が図られるため、市が実施すべき事業です。								
	有効性評価	県との連携を密に行い、市民との調整役となることで用地交渉業務を円滑に進めることができました。								
	効率性評価	県との連携により、用地契約を締結することができました。								
事業費					左の財源内訳					
			国県支出金		地方債		その他		一般財源	
	135,240		0		0		0		135,240	

153	款・項・目	8・2・2	目名	道路維持費	目の決算額	576,401,412	153
	細事業名	2・1 道路維持事業					
	細事業コスト	377,409,613 【うち人件費 36,051,846 うち減価償却費 140,776,754】					
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 道路、側溝、雨水管、排水ポンプ等						
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 機能が維持されています。						
評価指標	指標名		R1年度実績値	/	R1年度計画値	単位	
	要望等処理件数		1,800	/	2,000	件	
	舗装修繕面積		21,720	/	2,000	㎡	
	側溝改修延長		961	/	1,000	m	
実施内容	1 修繕 道路パトロールや市民通報などにより把握した道路などの破損箇所について迅速に対応し、適正な維持管理を行いました。 市民等からの陳情要望件数						
			H29	H30	R1		
	陳情要望件数		1,268	1,164	1,194		
	対応件数						
			H29	H30	R1		
	作業員対応	道路補修	222	271	303		
		舗装修繕	313	268	203		
		草刈作業	120	137	200		
		浚渫作業	392	383	288		
	小計		1,047	1,059	994		
	業者対応	道路補修	273	280	272		
		舗装修繕	161	136	127		
草刈作業		42	38	23			
浚渫作業		31	28	16			
小計		507	482	438			
合計		1,554	1,541	1,432			
2 委託 道路の草刈、側溝浚渫、地下道の路面清掃、駅エレベーターの清掃などの保守点検を行い、適正な維持管理を行いました。また、橋梁の点検を行いました。							
事業の評価	妥当性評価	市民が安全に通行できる道路を確保するため、市道の維持管理は、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	迅速な道路の修繕に取り組み、安全かつ快適な道路環境の維持を図るとともに市民の要望に応えることができました。					
	効率性評価	道路支障の早期発見のため、ホームページ等を通して情報提供を呼びかけ、迅速な修繕を行いました。					
事業費	左の財源内訳						
	576,401,412	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		35,008,000	0	212,272,663 (基金168,293,000)	329,120,749		

主要事業No 149

主要事業No 149

153	款・項・目	8・2・2	目名	道路維持費	目の決算額	153
	細事業名	2・1 道路維持事業				
	細事業コスト	【うち人件費 うち減価償却費 】				

実施 内容	(1)草刈、(2)側溝浚渫						
		H29	H30	R1			
		定期的草刈委託(入札)	356	346	339		
		暗渠等浚渫委託(単契)	25	26	29		
		小計	381	372	368		
	(3)施設維持管理						
		ア	地下道などの清掃 (柗山、清蔵、堀越の各地下道、大府駅、共和駅)				
		イ	地下道ポンプ保守 (柗山、清蔵、堀越の各地下道)				
		ウ	地下道電気保守 (柗山地下道)				
		エ	駅エレベーター保守 (大府駅、共和駅)				
		オ	駅エレベーター警備 (大府駅、共和駅)				
	(4)橋梁点検、調査測量設計						
		ア	路面性状調査業務委託 市道大高木ノ山線ほか52路線				
		イ	橋梁補修設計業務委託 無名橋ほか1橋 (北崎町、長草町)				
	3 工事						
	舗装修繕工事や側溝改修工事、橋梁補修工事を行い、市民が安全に通行出来るよう適正な維持管理を行いました。						
	(1)舗装修繕工事						
		ア	市道長根北崎線 (横根町：舗装1,729㎡)				
		イ	市道1104号線 (共西町：舗装100㎡)				
		ウ	市道大府共和線 (共和町：舗装7,482㎡) 9月補正				
	エ	市道大府共和線ほか1路線 (共和町：舗装7,460㎡) 9月補正					
(2)側溝改修工事							
	ア	市道大府共和線 (共和町：舗装34㎡、側溝65m) 9月補正					
	イ	市道1142号線 (共西町：舗装369㎡、側溝182m)					
	ウ	市道1124号線 (共西町：舗装324㎡、側溝116m)					
	エ	市道6047号線ほか1路線 (神田町：舗装259㎡、側溝167m)					
	オ	市道5115号線 (横根町：舗装279㎡、側溝118m)					
	カ	市道平地南屋敷線 (横根町：舗装548㎡、側溝131m)					
	キ	市道4101号線 (東新町：舗装210㎡、側溝86m)					
	ク	市道7031号線 (若草町：舗装130㎡、側溝65m)					
(3)橋梁補修工事							
		新石ヶ瀬橋ほか5橋 (月見町ほか)					
(4)雨水管老朽化に伴う改修工事							
	ア	市道4214号線ほか2路線 (桃山町：舗装1,399㎡、雨水管411m) H30年度から繰越し					
	イ	市道4215号線ほか2路線 (桃山町：舗装1,338㎡、雨水管335m)					
(5)狭あい道路整備工事							
		市道7093号線 (朝日町：舗装59㎡、側溝31m)					

154	款・項・目	8・2・3	目名	道路新設改良費	目の決算額	434,686,272	154	
	細事業名	3・1 補助幹線道路改良事業						
	細事業コスト	37,444,153 【うち人件費 17,027,682 うち減価償却費 11,952,591】						
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 幹線道路との接続道路及び地域の交通量の多い道路（補助幹線道路）							
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 既存道路の拡幅、歩道設置、道路の整備が進み、安全で良好な道路のネットワークが構築されています。							
評価指標	指標名		R1年度実績値	／	R1年度計画値	単位		
	整備延長		0	／	0	m		
	一級市道歩道整備延長		0	／	0	m		
	歩道整備延長		49	／	0	m		
実施内容	1 市道井田上線 用地買収及び物件補償を実施しました。 用地買収 7筆 797.50㎡、物件補償 5件（R2年度へ繰越し）							
	2 市道共和駅東線（共和変電所～県道泉田共和線） 用地買収、物件補償及び歩道設置工事を実施しました。 用地買収 8筆 177.77㎡、物件補償 5件（R2年度へ繰越し）、工事 歩道延長L=49m							
	3 大府駅自由通路 投物防止柵設置及び伸縮装置補修工事を実施しました。（R2年度へ繰越し） 塗装塗替工事及びJR東海への工事負担金による足場設置工事を実施しました。							
	4 市道上原殿田線 詳細設計の委託、用地買収及び物件補償を実施しました。 用地買収 1筆 550.69㎡、物件補償 1件（R2年度へ繰越し）							
	5 市道3123号線（げんきの郷西） 用地測量及び道路改良工事（延長L=240m）を実施しました。							
	6 市道4073号線 (1) 1期（共和病院西）：用地測量の委託を実施しました。 (2) 2期（大和機工東）：用地測量、詳細設計及び地質調査の委託を実施しました。 （R2年度へ繰越し）							
	7 知多半島道路大府パーキングエリア関連 愛知県道路公社からの公共補償による用地買収（4筆 249.83㎡）を実施しました。							
	8 都市計画道路大府東浦線関連 愛知県からの公共補償による用地買収（2筆 564.77㎡）を実施しました。（R2年度へ繰越し）							
	9 HASSIN BRIDGE（共和人道橋） 橋梁補修工事を実施しました。							
	10 月見跨線道路橋 JR東海への工事負担金による橋梁補修工事を実施しました。（6月補正）							
事業の評価	妥当性評価	より多くの市民が安全・安心に道路を利用できる道路ネットワークの整備は、市民生活の基盤となるため、市が実施すべき事業です。						
	有効性評価	補助幹線道路の整備により、道路網が構築され、スムーズな移動が可能となりました。また、歩道の整備により、歩行者の安全を確保することができました。						
	効率性評価	国の交付金及び県の補助金を有効に活用することや、県事業と連携して整備を進めることにより、効率的に整備促進を図ることができました。						
事業費	左の財源内訳							
	434,686,272	国県支出金	地方債	その他	一般財源			
		54,080,050	0	6,976,628	373,629,594			

主要事業No 146

主要事業No 146

155	款・項・目	8・3・2	目名	河川維持費	目の決算額	154,073,075	155																																						
	細事業名	2・1 河川維持事業																																											
	細事業コスト	59,896,673 【うち人件費 8,513,690 うち減価償却費 2,569,389】																																											
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 河川施設等 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 草刈・浚渫等の管理が行き届き、排水機能及び環境美化が維持されています。																																												
評価指標	指標名	R1年度実績値	／	R1年度計画値	単位																																								
	河川等の草刈面積（単年度）	81,920	／	83,000	㎡																																								
			／																																										
			／																																										
実施内容	1 河川等の草刈り 河川等の草刈りを計画的に実施することにより、良好な維持管理及び環境美化を図りました。																																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">草刈委託（定期）</th> <th colspan="2">単価契約（緊急）</th> <th colspan="2">草刈委託（単年度）</th> <th rowspan="2">合計面積</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>面積</th> <th>件数</th> <th>面積</th> <th>件数</th> <th>面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>14か所</td> <td>93,610㎡</td> <td>6か所</td> <td>1,210㎡</td> <td>1か所</td> <td>260㎡</td> <td>95,080㎡</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>17か所</td> <td>74,380㎡</td> <td>3か所</td> <td>1,146㎡</td> <td>1か所</td> <td>9,060㎡</td> <td>84,586㎡</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>14か所</td> <td>81,360㎡</td> <td>1か所</td> <td>560㎡</td> <td>0か所</td> <td>0㎡</td> <td>81,920㎡</td> </tr> </tbody> </table>						年度	草刈委託（定期）		単価契約（緊急）		草刈委託（単年度）		合計面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	H29	14か所	93,610㎡	6か所	1,210㎡	1か所	260㎡	95,080㎡	H30	17か所	74,380㎡	3か所	1,146㎡	1か所	9,060㎡	84,586㎡	R1	14か所	81,360㎡	1か所	560㎡	0か所	0㎡	81,920㎡
	年度	草刈委託（定期）		単価契約（緊急）		草刈委託（単年度）			合計面積																																				
		件数	面積	件数	面積	件数	面積																																						
	H29	14か所	93,610㎡	6か所	1,210㎡	1か所	260㎡	95,080㎡																																					
	H30	17か所	74,380㎡	3か所	1,146㎡	1か所	9,060㎡	84,586㎡																																					
	R1	14か所	81,360㎡	1か所	560㎡	0か所	0㎡	81,920㎡																																					
	2 河川施設等の修繕等 (1) 修繕等の件数																																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>工事</th> <th>修繕</th> <th>単価契約</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>0件</td> <td>3件</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>0件</td> <td>10件</td> <td>13件</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>0件</td> <td>24件</td> <td>9件</td> </tr> </tbody> </table>						年度	工事	修繕	単価契約	H29	0件	3件	8件	H30	0件	10件	13件	R1	0件	24件	9件																						
	年度	工事	修繕	単価契約																																									
H29	0件	3件	8件																																										
H30	0件	10件	13件																																										
R1	0件	24件	9件																																										
河川維持管理工事、委託																																													
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>河川伐採委託</td> <td>尾坂田川他</td> <td>伐採工N=39本</td> </tr> <tr> <td>河川浚渫委託</td> <td>矢戸川</td> <td>浚渫工V=54㎡</td> </tr> <tr> <td>河川浚渫委託</td> <td>大高川</td> <td>浚渫工V=58㎡</td> </tr> </tbody> </table>						河川伐採委託	尾坂田川他	伐採工N=39本	河川浚渫委託	矢戸川	浚渫工V=54㎡	河川浚渫委託	大高川	浚渫工V=58㎡																														
河川伐採委託	尾坂田川他	伐採工N=39本																																											
河川浚渫委託	矢戸川	浚渫工V=54㎡																																											
河川浚渫委託	大高川	浚渫工V=58㎡																																											
(2) 苦情要望等の件数																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>合計</th> <th>浚渫</th> <th>草刈伐採</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>67件</td> <td>2件</td> <td>43件</td> <td>22件</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>84件</td> <td>3件</td> <td>41件</td> <td>40件</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>90件</td> <td>6件</td> <td>45件</td> <td>39件</td> </tr> </tbody> </table>						年度	合計	浚渫	草刈伐採	その他	H29	67件	2件	43件	22件	H30	84件	3件	41件	40件	R1	90件	6件	45件	39件																			
年度	合計	浚渫	草刈伐採	その他																																									
H29	67件	2件	43件	22件																																									
H30	84件	3件	41件	40件																																									
R1	90件	6件	45件	39件																																									
3 河川水位監視システムの維持管理 定期的な点検を行ったことで、災害警戒時に動作不良や誤動作はなく、適切に運用しました。 水位計8台：年10回、監視カメラ3台：年1回																																													
事業の評価	妥当性評価	治水機能の維持と環境の保持を図るため、河川施設等を適正に管理することが必要であり、市が主体で実施すべき事業です。																																											
	有効性評価	苦情要望が多い中、治水機能の維持と環境保持を図るため、必要性や緊急性を判断して、適切な作業を実施することができました。																																											
	効率性評価	積極的な現地確認により、適切な工法を選定して作業を実施できました。また、職員による定期的な点検や維持管理作業を行い、コスト削減を図ることができました。																																											
事業費	左の財源内訳																																												
	53,695,713	国県支出金	地方債	その他	一般財源																																								
		0	0	0	53,695,713																																								

主要事業No 163

主要事業No 163

156	款・項・目	8・3・2	目名	河川維持費	目の決算額		156																				
	細事業名	3・1 水路等維持事業																									
	細事業コスト	91,775,154	【うち人件費 8,068,285 うち減価償却費 5,973,675】																								
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）																										
	水路施設等 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 草刈・浚渫等の管理が行き届き、排水機能及び環境美化が維持されています。																										
評価指標	指標名		R1年度実績値	/	R1年度計画値	単位																					
	水路等の草刈面積（単年度）		11,060	/	11,000	㎡																					
				/																							
				/																							
実施内容	1 水路等の草刈り 水路等の草刈りを計画的に実施することにより、良好な維持管理及び環境美化を図りました。 1工区（東工区） 2工区（西工区） 1回目5,540㎡、2回目1,120㎡ 1回目2,950㎡、2回目1,450㎡																										
	2 水路、調整池等の管理																										
	(1) 修繕等の件数 R1:工事0件、修繕19件、単価契約26件																										
	(2) 苦情要望等の件数																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>合計</th> <th>浚渫</th> <th>草刈伐採</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>150件</td> <td>25件</td> <td>62件</td> <td>63件</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>190件</td> <td>31件</td> <td>83件</td> <td>76件</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>201件</td> <td>38件</td> <td>83件</td> <td>80件</td> </tr> </tbody> </table>							年度	合計	浚渫	草刈伐採	その他	H29	150件	25件	62件	63件	H30	190件	31件	83件	76件	R1	201件	38件	83件	80件
	年度	合計	浚渫	草刈伐採	その他																						
	H29	150件	25件	62件	63件																						
	H30	190件	31件	83件	76件																						
	R1	201件	38件	83件	80件																						
	(3) 水路等維持管理委託、工事																										
ア 水路伐採委託 奥池下水路、トチネ池 伐採N=9本 剪定面積A=60㎡																											
イ 水路浚渫委託 後田水路、若草水路 浚渫V=4.36㎡																											
ウ 水路改良工事 平手水路、朝日町一丁目水路、長草保育園跡地水路、雨兼水路 明成町二丁目水路 張りコンクリート工A=46㎡ 防草シート設置工A=440㎡																											
エ 調整池浚渫委託 深廻間1号調整池 浚渫V=483㎡																											
事業の評価	妥当性評価	治水機能の維持と環境保全を図るため、水路、調整池、治水ため池及び排水機場を適正に管理することが必要であり、市が主体で実施すべき事業です。																									
	有効性評価	苦情要望が多い中、治水機能の維持と環境保全を図るため、必要性や緊急性を判断して、適切な作業を実施することができました。																									
	効率性評価	積極的な現地確認により、適切な工法を選定して作業を実施できました。また、職員による定期的な点検や維持管理作業を行い、コスト縮減を図ることができました。																									
事業費	左の財源内訳																										
	100,377,362	国県支出金	地方債	その他	一般財源																						
		9,271,000	0	11,570,599	79,535,763																						

主要事業No 164

主要事業No 164

156	款・項・目	8・3・2	目名	河川維持費	目の決算額	156
	細事業名	3・1 水路等維持事業				
	細事業コスト	【うち人件費 うち減価償却費 】				
実施 内容	3 排水機場の工事					
	(1) 異常通報装置更新工事 横根川排水機場と五ヶ村川第3排水機場の異常通報装置を更新しました。					
	(2) 触媒栓交換工事 五ヶ村川第2排水機場の蓄電池用触媒栓を更新しました。					
	(3) 自家発用蓄電池交換工事（土地改良施設維持管理適正化事業で実施） 五ヶ村川第3排水機場の自家発用蓄電池を更新しました。					
	(4) 解体工事 旧横根川排水機場の解体工事を実施しました。					
4 土地改良施設維持管理適正化事業						
(1) 五ヶ村川第3排水機場機器等交換工事 直流電源盤蓄電池、自家発用蓄電池等を交換しました。						
(2) 横根川排水機場機器等交換工事 直流電源盤蓄電池を交換しました。						
5 震災対策農業水利施設整備事業の実施（県営事業） 五ヶ村川第3排水機場の耐震対策工事を行いました。						
(1) 全体事業費 259,487,000円（負担割合 国50%県49%市1%）						
(2) 工期 平成29年度～令和元年度						
(3) 令和元年度工事負担金 136,070,000円×1%=1,360,700円						

主要事業No 164

主要事業No 164

157	款・項・目	8・3・3	目名	河川改修費	目の決算額	20,616,477	157	
	細事業名	3・1 水路整備事業						
	細事業コスト	6,746,812	【うち人件費 4,919,202 うち減価償却費 995,815 】					
事業の 目的	対象（何を、誰を対象として）							
	未改修及び断面不足の水路							
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 順次、計画的に整備し、断面不足等の解消が行われています。							
評価 指標	指標名		R1年度実績値	／	R1年度計画値	単位		
	当該年度水路整備延長		0	／	0	m		
				／				
				／				
実施 内容	土地購入							
	<p>(1)大府PA関連付替水路用地取得 大府パーキングエリア築造工事による水路の付替えのための用地を購入しました。 購入面積 A=500.79㎡</p> <p>(2)一般県道長草東海線関連付替水路用地取得 一般県道長草東海線築造工事による水路の付替えのための用地を契約し前払い金を支払いました。 購入予定面積 A=206.65㎡</p>							
事業の 評価	妥当性評価	水路改修工事については、市民の生命と財産を守る上で、市が主体となり実施すべき事業です。						
	有効性評価	水路付替え用地を購入することで、関連機関が実施する事業に寄与することができます。						
	効率性評価	水路付替え用地を関連機関と協力して地権者から購入することで効率化を図りました。						
事業費	左の財源内訳							
	19,920,664	国県支出金	地方債	その他	一般財源			
		0	0	19,767,893	152,771			

主要事業No 162

主要事業No 162

158	款・項・目	8・3・3	目名	河川改修費	目の決算額		158															
	細事業名	4・1 総合排水計画事業																				
	細事業コスト	6,023,677	【うち人件費 5,815,761 うち減価償却費 163,293】																			
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）																					
	雨水貯留施設 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 雨水が貯留され、河川への流出が抑制されています。																					
評価指標	指標名		R1年度実績値	／	R1年度計画値	単位																
	雨水流出抑制対策済量		171,983	／	175,750	m ³																
				／																		
実施内容	1 大府市総合排水事業促進会議 大府市総合排水計画の円滑な推進を図るため、関係各課と事業調整等を行いました。 （2回開催）																					
	2 特定都市河川浸水被害対策法（河川新法） 特定都市河川浸水被害対策法の関連事務を愛知県及び流域12市町で進めました。 (1) 雨水浸透阻害行為許可申請事務の受付（書類受付、開発者の指導、完了検査立会い） <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th></th> <th>受付件数</th> <th>完了件数</th> <th>対策量</th> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>44件</td> <td>28件</td> <td>1,676m³</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>49件</td> <td>25件</td> <td>2,198m³</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>43件</td> <td>38件</td> <td>5,834m³</td> </tr> </table> (2) 市民への周知（広報掲載、ビジュアルボードフェア開催、懸垂幕掲示） (3) 保全調整池の指定（H29：0か所、H30：0か所、R1：0か所）								受付件数	完了件数	対策量	H29	44件	28件	1,676m ³	H30	49件	25件	2,198m ³	R1	43件	38件
	受付件数	完了件数	対策量																			
H29	44件	28件	1,676m ³																			
H30	49件	25件	2,198m ³																			
R1	43件	38件	5,834m ³																			
事業の評価	妥当性評価	行政、民間事業者、市民が協力して進めている雨水流出抑制対策において、総合排水計画の目標値の達成のためには、市が先導して推進していくべき事業です。																				
	有効性評価	雨水流出抑制対策を継続的に推進しており、着実に総合治水対策を進めることができます。また、民間事業者や、市民に対してもこの取組のPRを行っています。																				
事業費	効率性評価	行政だけでなく、民間事業者や市民に協力していただき、効率的に雨水流出抑制対策施設を整備することができます。																				
	0	左の財源内訳																				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																	
		0	0	0	0																	

主要事業No 165

主要事業No 165

159	款・項・目	8・4・1	目名	都市計画総務費	目の決算額	120,730,359	159	
	細事業名	2・1 都市計画策定事業						
	細事業コスト	53,165,949 【うち人件費 17,337,131 うち減価償却費 552,686】						
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）							
	市民 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 都市計画マスタープランに基づいたまちづくりを行うことにより、いつまでも住み続けたいと実感しています。							
評価指標	指標名		R1年度実績値	／	R1年度計画値	単位		
	都市計画審議会での議決案件数累計		63	／	61	件		
	市街化区域の累計面積		1,338	／	1,338	ha		
実施内容	1 都市計画審議会を開催し、都市計画道路、生産緑地地区等の都市計画の変更を行いました。それに伴い、都市計画閲覧システム（GIS）のデータ変更を行いました。 都市計画審議会議決案件数累計 平成29年度：40件 平成30年度：57件 令和元年度：63件 生産緑地地区面積 平成29年度：19.6ha 平成30年度：18.9ha 令和元年度：17.9ha							
	2 都市計画法に基づき都市計画基礎調査を行いました。 令和元年度は「宅地開発状況・市街化調整区域内開発状況」の調査を行いました。							
	3 航空写真撮影成果を基に、都市計画基本図を作成しました。							
	4 愛知県の都市計画道路の見直しに合わせ、愛知県と協議を行い、都市計画道路大府南線の都市計画変更を行いました。							
	5 第4次大府市都市計画マスタープランの作業部会（2回）及び策定委員会（2回）を開催しました。その後、パブリックコメントを実施し、都市計画マスタープランを策定しました。							
	6 大府市空家等対策計画に基づき、空家等の対策に取り組みました。 (1) 空家等に関する対策について協議するため、空家等対策協議会を3回開催しました。 (2) 大府市空家等対策の推進に関する条例を制定しました。 (3) 空家等に関する情報や取組について周知・啓発を行うため、空家等対策セミナーと個別相談会を開催しました。							
事業の評価	妥当性評価	良好な土地利用を推進して行く上で、道路などの都市施設の都市計画決定の変更手続きは、市が実施すべき事業です。						
	有効性評価	将来を見据えたまちづくりの基本的理念や目標に向かい、土地利用規制などの市の都市計画に関する基本的な方針を示す都市計画マスタープランを策定しました。						
	効率性評価	土地所有者の協力や民間開発などの活用を図ることで、土地所有の推進を効率的に行うことができました。						
事業費	左の財源内訳							
	35,135,983	国県支出金	地方債	その他	一般財源			
		0	0	0	35,135,983			

主要事業No 143

主要事業No 143

160	款・項・目	8・4・1	目名	都市計画総務費	目の決算額		160
	細事業名	5・2 駅周辺にぎわい創出事業					
	細事業コスト	10,951,408	【うち人件費 9,942,266 うち減価償却費 316,538】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	市民、駅利用者 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 駅周辺のにぎわいを創出することで、利用者及び地域の人たちが訪れたいと実感しています。						
評価指標	指標名		R1年度実績値	／	R1年度計画値	単位	
	駅周辺のイベント開催数		6	／	6	件	
				／			
実施内容	1 大府駅周辺のにぎわい創出について取り組みました。 (1) 国土交通省の支援を受けて、大学教授、地元事業者及び行政を含めた官民連携の地域プラットフォーム会議を4回開催し、地域課題の分析やにぎわい創出につながる事業のアイデア出しを行いました。また、大府駅前に関するアンケート調査や民間事業者からのサウンディング調査を行い、その結果を情報共有しました。 (2) 大府駅東南部地域について、土地所有者の土地利用に関する意向調査をもとに、今後のまちづくり手法を検討しました。						
	2 大府市内のにぎわい創出について検討しました。 (1) 大府商工会議所の「大府で人生100年時代を楽しむプロジェクト」に参加し、にぎわい創出について検討しました。 (2) 共和駅周辺まちづくり委員会を4回開催し、にぎわい創出について検討しました。 (3) にぎわい創出に関する先進地への視察に行きました。						
	3 駅周辺のイベント開催 (1) 大府夏まつり (2) 共長夏まつり (3) 大府駅前マルシェ (4) 共和金ちゃん朝市 (5) 駅前イルミネーション (6) 共和夢通り清掃活動（愛三工業株式会社も参加）						
事業の評価	妥当性評価	駅周辺のにぎわい創出は、持続的なまちづくりを進めるため、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	官民連携の地域プラットフォーム会議を開催し、まちづくりに関する意見交換を行うことで、駅周辺のにぎわい創出に向けた機運を高めることができました。					
	効率性評価	国土交通省の支援を受け、効率的に事業を進めることができました。					
事業費	左の財源内訳						
	613,078	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	0	613,078		

161	款・項・目	8・4・1	目名	都市計画総務費	目の決算額		161																		
	細事業名	2・3 屋外広告物管理事業																							
	細事業コスト	3,628,568 【うち人件費 3,491,426 うち減価償却費 110,537】																							
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 屋外広告物等 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 違反屋外広告物を無くし、美しく安全で住みよいまちづくりを実現します。																								
評価指標	指標名	R1年度実績値	／	R1年度計画値	単位																				
	簡易違反屋外広告物の除却	11	／	100	件																				
	屋外広告物許可件数	119	／	60	件																				
			／																						
実施内容	1 電柱やガードレール等に貼られた違反簡易屋外広告物を除却し、防犯や環境美化の推進を図りました。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>実施項目</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>内 訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>違反簡易屋外広告物の除却件数</td> <td>95</td> <td>56</td> <td>11</td> <td>はり紙1件 はり札1件 立看板9件</td> </tr> </tbody> </table> 2 屋外広告物設置の許可等の手続きを行いました。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>実施項目</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋外広告物許可等件数</td> <td>138</td> <td>99</td> <td>119</td> </tr> </tbody> </table> 3 職員による屋外広告物のパトロールを年4回実施し、違反簡易屋外広告物の除却と違反者への指導を行いました。 第1回：5月 第2回：8月 第3回：12月 第4回：2月							実施項目	H29	H30	R1	内 訳	違反簡易屋外広告物の除却件数	95	56	11	はり紙1件 はり札1件 立看板9件	実施項目	H29	H30	R1	屋外広告物許可等件数	138	99	119
実施項目	H29	H30	R1	内 訳																					
違反簡易屋外広告物の除却件数	95	56	11	はり紙1件 はり札1件 立看板9件																					
実施項目	H29	H30	R1																						
屋外広告物許可等件数	138	99	119																						
	4 屋外広告物適正化旬間（9/1～9/10）の実施期間において、広報及びホームページで屋外広告物に関する手続きや適正管理についての啓発を行いました。																								
事業の評価	妥当性評価	屋外広告物法等に基づき行う違反簡易屋外広告物の除却及び意識啓発は、市が実施すべき事業です。																							
	有効性評価	屋外広告物の適正な許可や指導を行いました。また、違反簡易屋外広告物の除却を行うことにより、環境美化の推進を図ることができました。																							
	効率性評価	地域安全推進員のパトロールなどにより、広域のかつ速やかな違反簡易屋外広告物の除却を効率的に行うことができました。																							
事業費	8,138		左の財源内訳																						
			国県支出金	地方債	その他	一般財源																			
		0	0	0	8,138																				

162	款・項・目	8・4・2	目名	街路事業費	目の決算額	296,520,086	162
	細事業名	3・1 幹線道路整備事業					
	細事業コスト	238,720,693	【うち人件費 19,512,221 うち減価償却費 13,388,835】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 市及び県が管理する市内の幹線道路（都市計画道路）						
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 渋滞の解消、目的地への移動時間の短縮、交通事故の防止、歩行者の安全性向上、災害時の緊急輸送路の確保、広域的な車両の流動性の向上などができています。						
評価指標	指標名		R1年度実績値	／	R1年度計画値	単位	
	都市計画道路整備延長		405	／	405	m	
	都市計画道路 歩道整備延長		810	／	810	m	
	都市計画道路 歩道整備延長（一級市道）		810	／	810	m	
実施内容	1 県道横根大府線 物件調査の委託、用地買収及び物件補償を実施しました。（9月補正） 用地買収 7筆 125.11㎡、物件補償 6件（R2年度へ繰越し）						
	2 都市計画道路柘山大府線 (1) 2期（市道大府共和線～市道上原殿田線） 道路改良及び信号機移設の工事を実施しました。 工事 延長L=405m、道路幅員W=18～20m、信号機移設 3基 (2) 3期（市道上原殿田線～県道名古屋碧南線） 用地買収、待避所設置の工事、用地測量及び電柱の移設補償を実施しました。 用地買収 1筆 15.30㎡（H30年度から繰越し）、工事 延長L=10m（待避所設置） 電柱移設補償 1基（R2年度へ繰越し）						
	3 都市計画道路養父森岡線 (1) 1期（東海市境～石ヶ瀬川） 用地買収を実施しました。 用地買収 1筆 71.23㎡ (2) 2期（石ヶ瀬川～県道大府常滑線） 予備設計の委託を実施しました。						
	4 みちづくり基金 基金の積立てを行うとともに、幹線道路整備等のために取り崩しました。 積立金 200,732千円、取崩し 209,652千円						
	5 愛知県が施行する都市計画道路等の整備促進 (1) 瀬戸大府東海線：明神川から惣作交差点までの区間で工事を実施しました。 (2) 大府東浦線：国道155号から市道ウド線までの区間で工事を実施しました。 (3) 東海有松線：本郷交差点から東海市境までの区間で用地買収及び用地交渉を実施しました。 (4) 名和大府線：田面交差点の用地買収及び用地交渉を実施しました。						
事業の評価	妥当性評価	幹線道路は、まちづくりにおける都市基盤としての機能を担うため、県と市が協力して実施すべき事業です。					
	有効性評価	幹線道路の整備により道路網が構築され、交通の流れがスムーズになります。また、歩道の整備により、歩行者の安全が確保されます。					
	効率性評価	国の交付金及びみちづくり基金を有効に活用して効率的に事業を進めることができました。					
事業費	左の財源内訳						
	294,397,086	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		31,580,000	0	41,745,661 (基金39,459,000)	221,071,425		

主要事業No 145

主要事業No 145

163	款・項・目	8・4・4	目名	公園事業費	目の決算額	354,292,447	163	
	細事業名	2・2 ニツ池セレトナ運営事業						
	細事業コスト	29,359,727	【うち人件費 2,286,776 うち減価償却費 5,596,691】					
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）							
	市民 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） ニツ池セレトナを利用して、大府市の自然を見て、触れて、学ぶ機会を持てるようにします。							
評価指標	指標名		R1年度実績値	／	R1年度計画値	単位		
	ニツ池セレトナ入場者数		35,909	／	25,000	人		
	セレトナ学習室利用件数		192	／	120	件		
	講座参加者数		3,872	／	3,500	人		
実施内容	1 ニツ池セレトナの効率的な運営及び適正な維持管理 指定管理者の創意工夫とノウハウを活用して、施設の効率的かつ適切な維持管理・運営を図るとともに、市民が自然と触れ合い学ぶことができる学習の機会を提供しました。 （指定管理期間：平成29年度～令和3年度）							
	2 イベントや講座などの開催 多くの市民が自然と触れ合い体験できる場として、セレトナフェスタを始めとするイベントや、自然観察会などの講座を実施しました。							
	3 情報の発信 広報、ホームページ等により、積極的に情報発信を行いました。							
			H29	H30		R1		
	ニツ池セレトナ入場者数		42,840人	40,646人		35,909人		
	セレトナ学習室利用件数		93件 4,113人	157件 3,785人		192件 5,308人		
	デイキャンプ利用数		90件 3,784人	117件 3,490人		95件 4,149人		
講座参加者数		104回 5,983人	102回 6,147人		80回 3,872人			
グラウンド利用者数		359件 8,807人	401件 9,960人		342件 8,789人			
※ニツ池公園グラウンドは平成29年4月にスポーツ推進課から移管								
事業の評価	妥当性評価	水と緑に恵まれた環境の中で、市民に自然体験学習の機会を提供する施設の運営は、市が実施すべき事業です。						
	有効性評価	施設の利用制限が生じ閉館期間は短縮となりましたが、講座参加者のアンケート結果での満足度は非常に高く、事業の効果は上がっています。						
	効率性評価	施設の運営に指定管理者制度を導入したことで、様々な工夫により学習室などの利用者数が大きく増加し、効果的な施設運営を効率的に行うことができています。						
事業費	左の財源内訳							
	21,621,926	国県支出金	地方債	その他	一般財源			
		0	0	0	21,621,926			

主要事業No 170

主要事業No 170

164	款・項・目	8・4・4	目名	公園事業費	目の決算額	164
	細事業名	3・1 公園整備事業				
	細事業コスト	45,588,209	【うち人件費 6,942,000 うち減価償却費 37,779,731】			
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）					
	市民 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 憩いの場となる公園を整備することで、安全で快適な時間を過ごしています。					
評価指標	指標名		R1年度実績値	／	R1年度計画値	単位
	都市公園整備面積（単年度ごと）		0	／	0	ha
	市民一人当たり都市公園面積（市内公園全体）		10.42	／	8.6	m ² /人
実施内容	<p>1 川池親水空間整備工事 平成29年度にワークショップ形式により地域住民と共に策定した基本構想を基にして、治水安全度を確保しながら緑や潤いを感じ、運動できる公園としての整備を進めています。（2か年事業）（繰越し）</p> <p>2 辰池公園化委員会支援 子供たちが遊べる遊具を備えた広場を整備するため、辰池堤防下用地を取得しました。 辰池の公園化に向けて、市職員と地域住民が辰池周辺の整備についての意見を交わしました。 役員会開催：2回 ワークショップ会議：2回</p>					
事業の評価	妥当性評価	快適で便利な暮らしの基盤づくりとして、市民の憩いの場である公園を整備することは、市が実施すべき事業です。				
	有効性評価	公園や親水空間の整備内容について、住民参加のワークショップ形式によって計画づくりをすることにより、周辺住民の意見調整が図られました。				
	効率性評価	地元住民の十分な理解と協力のもと事業が効率的に進められ良好で魅力的な住環境を整備することができます。				
事業費	左の財源内訳					
	69,307,582	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		0	44,000,000	0	25,307,582	

主要事業No 172

主要事業No 172

165	款・項・目	8・4・4	目名	公園事業費	目の決算額		165
	細事業名	2・1 公園管理事業					
	細事業コスト	205,683,433 【うち人件費 10,208,823 うち減価償却費 39,594,811】					
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 市民						
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 公園施設の適切な維持管理を行い、身近に緑が感じられる空間として、安全で快適に過ごせることにより、公園などに対する市民の満足度が向上しています。						
評価指標	指標名		R1年度実績値	/	R1年度計画値	単位	
	公園管理面積（合計）		96.60	/	83	ha	
				/			
				/			
実施内容	1 施設維持管理委託 公園の快適な環境を保つため、ごみ拾い、トイレ清掃、除草などを実施しました。						
	2 公園遊具安全保守点検委託 公園遊具の安全性を確保するため、公園遊具の定期点検を実施しました。						
	3 水景施設保守点検委託 公園などの水景施設が安定して稼働できるよう、水景施設の点検を実施しました。						
	4 公園施設の維持管理 公園を良好な状態に保つことができるように、公園の施設や遊具の修繕を実施し、適切な維持管理を行いました。 都市公園面積（合計） H29:82.35ha H30:96.60ha R1:96.60ha (1) 大倉公園ひょうたん池の浚渫、カッパ像の設置 (2) 公園照明灯、引込柱立替 3基 (3) 四阿屋根葺材取替 4棟 (4) 大府駅ロータリー時計設置、取替（東口、西口） 2か所						
	5 茅葺門葺き替え委託 国の登録有形文化財である大倉公園茅葺門の屋根葺材を葺き替えました。						
	6 公園施設長寿命化対策工事(社会資本整備総合交付金) 公園施設長寿命化計画に基づき、利用者の意見などを反映させ、遊具の更新をしました。 (1) 清蔵公園 (2) アラタ公園 (3) 狐山公園 (4) 丸山公園 (5) 梶田公園 (6) 大府みどり公園						
	7 公園維持管理工事 大倉公園屋外トイレの洋式化及び照明LED化を実施しました。						
	8 公園等防犯カメラ設置 公園等でのトラブルを未然に防止するために防犯カメラを設置しました。 設置箇所：いこいの緑地（一屋町）2基						
事業の評価	妥当性評価	市民の憩いの場である公園について、公園施設等の状況を正確に把握し、日常管理や修繕等を行うことは、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	定期的に公園の維持管理を行うとともに、市民の要望等に対して迅速に対応することにより、安全で安心して利用できる市民の憩いの場を提供することができました。					
	効率性評価	職員や委託業者による巡回や遊具点検の他、市民団体などからの報告によって施設の劣化状況を正確に把握することにより、効率的に修繕を実施しました。					
事業費	左の財源内訳						
	202,960,535	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		16,000,000	0	2,107,862	184,852,673		

主要事業No 174

主要事業No 174

166	款・項・目	8・4・5	目名	緑化推進事業費	目の決算額	321,728,316	166
	細事業名	4・2 市民緑化推進事業					
	細事業コスト	9,734,429	【うち人件費 5,308,588 うち減価償却費 163,293】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	市民 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 多くの市民が緑の保全及び緑化の推進に参加することで、緑や花に親しみと充実感を得ています。						
評価指標	指標名		R1年度実績値	／	R1年度計画値	単位	
	民有地緑化制度を活用した植栽本数		866	／	2,690	本	
				／			
実施内容	市民との協働による緑と花のあふれるまちづくりを推進するため、大府市緑化基金を活用して、各種事業を実施しました。						
	1 提案型緑花推進事業 市民団体などが提案する緑花事業計画に基づく緑化事業 H29：4団体 H30：4団体 R1：4団体 2 記念樹配布事業 10項目の記念に樹木を配布する民有地緑化事業 H29：168本 H30：258本 R1：260本 3 学校シンボルツリー・シンボルフラワー事業 市内全小中学校の児童生徒に、緑の大切さや学校への愛着心を育んでもらうための学校緑化を行いました。 4 緑のまちづくり事業 公園緑地などに市民管理の花壇や緑地を設置し、潤いと安らぎの空間を提供しました。 5 シビックガーデンコンテスト事業 緑と花にあふれるまちづくりを啓発するため、緑化コンクールを開催しました。 H29：20件 H30：22件 R1：28件 6 民有地緑化制度を活用した植栽本数は866本でした。 H29：2,520本 H30：2,350本 R1：866本						
事業の評価	妥当性評価	市民との協働による緑あふれるまちづくりを進めるため、市民団体等の緑化推進に関する取組を幅広く支援することは、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	市民団体等の取組に対し、効果的に支援することにより、緑化に関する意識を多くの市民や地域に浸透させることができました。					
	効率性評価	緑化基金を活用し、市民との協働により、効果の高い緑化推進事業を効率的に実施することができました。					
事業費	左の財源内訳						
	4,228,323	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	4,217,532 (基金4,200,000)	10,791		

主要事業No 169

主要事業No 169

167	款・項・目	8・4・5	目名	緑化推進事業費	目の決算額	
	細事業名	4・1 緑化推進事業				
	細事業コスト	24,076,830	【うち人件費 8,167,058 うち減価償却費 1,843,573】			
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）					
	市民 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 緑を増やすことにより、潤いと安らぎを感じています。					
評価指標	指標名		R1年度実績値	/	R1年度計画値	単位
	緑地面積（単年度ごと）		0	/	0	m ²
	保全地区面積（毎年度末）		3.96	/	3.96	ha
				/		
実施内容	1 愛知県都市緑化基金を活用して、公有地や民有地の緑化を充実させることにより、緑あふれるまちづくりを推進しました。					
	事業名称		H29	H30	R1	
	信託木配布		4種 332本	4種 255本	4種 268本	
	保全地区		13か所 3.96ha	13か所 3.96ha	13か所 3.96ha	
	保存樹木		108本	108本	107本	
	花いっぱい運動		129か所 4回植替え	128か所 4回植替え	128か所 4回植替え	
	2 緑の募金を実施し、緑化に対する市民意識の高揚を図りました。					
	3 みどりの少年団の活動を通して、市内の小学生に緑化の大切さを理解してもらう機会を提供しました。（令和元年度実施校 大東小学校、神田小学校） 第70回全国植樹祭（尾張旭市：森林公園 6月2日開催）に参加しました。 （実施校 大東小学校、神田小学校）					
	4 愛知県が実施するあいち森と緑づくり都市緑化推進事業を活用し、市内の緑化を推進しました。 (1) 市民参加の植樹祭等により、道路の植樹帯や公共施設などに緑化整備を行いました。 ①荒池長草線 ②柘山大府線 ③二ツ池公園 (2) 緑化基準に基づいた優良な民有地緑化に支援を行いました。					
	5 緑化推進委員会により、緑の基本計画の進捗管理や緑の保全を図るとともに、緑化の推進について協議しました。					
6 大府市緑の基本計画の策定 策定委員会を組織し、緑の保全及び緑化推進の基礎となる「大府市緑の基本計画」の策定を行っています。						
7 フジバカマ植栽 知多半島にアサギマダラの飛来地を作る取組の一環として、市民団体と協力して二ツ池公園内にフジバカマの植栽を行いました。						
事業の評価	妥当性評価	緑あふれるまちづくりを進めるため、緑化推進や緑の保全を図るとともに、市民が緑に親しむことのできる機会を提供することは、市が実施すべき事業です。				
	有効性評価	民有地の緑化とともに、市民参加による公有地の緑化を行うことにより、多くの市民に緑とのふれあいの機会を提供し、緑化の推進を図ることができました。				
	効率性評価	あいち森と緑づくり都市緑化推進事業及び愛知県都市緑化基金を活用し、効率的に事業を実施することができました。				
事業費	左の財源内訳					
	21,935,133	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		9,064,000	0	680,565	12,190,568	

主要事業No 171

主要事業No 171

168	款・項・目	8・4・5	目名	緑化推進事業費	目の決算額		168
	細事業名	5・1 緑道整備事業					
	細事業コスト	16,211,249	【うち人件費 5,471,929 うち減価償却費 10,649,420】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	市民 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 歩行者などが安全に緑を感じながら移動することができます。						
評価指標	指標名		R1年度実績値	／	R1年度計画値	単位	
	緑道延長（合計）		19,572	／	18,575	m	
				／			
実施内容	1 鞍流瀬川緑道整備工事（一ツ屋橋～伊勢木橋～令和柵山橋） 鞍流瀬川の河川管理用道路を活用した緑道整備を行いました。 (1) 一ツ屋橋から伊勢木橋まで（左岸） 幅員 2.3m 延長 192m 照明 20基他 (2) 伊勢木橋から令和柵山橋まで（右岸） 幅員 2.3m 延長 285m 照明 29基他 2 新池遊歩道整備工事 水辺を眺めながら新池を一周できる遊歩道整備をしています。（線越し） 張出歩道 幅員2.0m 延長100m 照明 10基他 3 矢戸川緑道整備工事（藤池橋上流部） 矢戸川の藤池橋上流部左岸を快適に通行できるよう、緑道整備を行いました。 幅員 約2.0m 延長400m 照明 17基他						
	事業の評価	妥当性評価	河川管理用道路において、市民が水と緑に親しみながら安全に散策できる緑道を整備することは、市が実施すべき事業です。				
		有効性評価	緑道を整備することにより、安全に散策できる歩道ネットワークの形成を図ることができました。				
効率性評価		河川用地を活用することにより、新たに用地を取得することなく、効率的に緑道を整備することができました。					
事業費	左の財源内訳						
	97,640,340	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	0	97,640,340		

主要事業No 173

主要事業No 173

169	款・項・目	8・4・6	目名	土地区画整理事業費	目の決算額	398,174,267	169																
	細事業名	2・1 土地区画整理補助事業																					
	細事業コスト	423,972,726 【うち人件費 24,810,665 うち減価償却費 791,346】																					
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 事業施行中の土地区画整理組合 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 円滑で健全な組合運営がなされ、事業計画に定めるとおり事業が完了しています。																						
評価指標	指標名		R1年度実績値	／	R1年度計画値	単位																	
	面整備率		71.3	／	71.3	%																	
	人口達成率		80.8	／	84.3	%																	
	宅地化率		59.1	／	55.7	%																	
実施内容	1 土地区画整理事業実施地区内の宅地化が進み、人口増加につながっています。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>面整備率（全体）</td> <td>71.3%</td> <td>71.3%</td> <td>71.3%</td> </tr> <tr> <td>人口達成率（全体）</td> <td>79.1%</td> <td>80.5%</td> <td>80.8%</td> </tr> <tr> <td>宅地化率（全体）</td> <td>58.1%</td> <td>58.8%</td> <td>59.1%</td> </tr> </tbody> </table>								平成29年度	平成30年度	令和元年度	面整備率（全体）	71.3%	71.3%	71.3%	人口達成率（全体）	79.1%	80.5%	80.8%	宅地化率（全体）	58.1%	58.8%	59.1%
		平成29年度	平成30年度	令和元年度																			
面整備率（全体）	71.3%	71.3%	71.3%																				
人口達成率（全体）	79.1%	80.5%	80.8%																				
宅地化率（全体）	58.1%	58.8%	59.1%																				
2 土地区画整理事業の事業主体である組合に対し、事業計画に基づき円滑で健全に運営がされるよう指導及び補助金の交付を行いました。 <p>(1) 大府共和西地区【施行期間：平成10～令和2年度、面積：42.3ha、事業進捗率：97.8%】 施行後宅地面積を変更する事業計画の変更認可を、令和元年7月19日に受けました。また、資金計画を変更する事業計画の変更認可を、令和元年12月6日に受けました。 令和2年6月の換地処分に向け、関係各課との調整を行いました。</p> <p>(2) 大府横根平子地区【施行期間：平成28～令和7年度、面積：9.0ha、事業進捗率：18.8%】 道路や緑地の変更及びそれに伴う資金計画の変更について、事業計画の変更認可を令和2年3月17日に受けました。 組合が実施する整地工事、道路や調整池の詳細設計や上下水道の実施設計などについて、指導を行いました。また、実施事業に対し、補助金を交付しました。 土地区画整理事業補助金 325,530,000円</p> <p>(3) 大府北山地区【施行期間：平成30～令和8年度、面積：23.7ha、事業進捗率：2.9%】 道路や調整池、集合農地区の変更や廃止及び定款と資金計画の変更について、事業計画の変更認可申請を令和2年1月22日に行いました。 組合が実施する道路の予備設計や地盤確認のためのボーリング調査、土砂搬入工事などについて、指導を行いました。また、実施事業に対し、補助金を交付しました。 土地区画整理事業補助金 65,000,000円 国庫補助金市負担分 7,500,000円</p>																							
事業の評価	妥当性評価	住環境の整備を推進する事業であり、組合の円滑で健全な運営を支援することは、市が実施すべき事業です。																					
	有効性評価	優良宅地造成とともに、道路、緑地等を整備することにより、良好な住環境の実現に向けて着実に効果が上がりました。																					
	効率性評価	市と組合が一体となって整備を進め、効率的にまちづくりを推進していくことができました。																					
事業費	左の財源内訳																						
	398,174,267	国県支出金	地方債	その他	一般財源																		
		0	200,000,000	0	198,174,267																		

主要事業No 144

主要事業No 144

170	款・項・目	8・4・7	目名	建築開発費	目の決算額	1,027,289	170	
	細事業名	3・1 宅地開発指導事業						
	細事業コスト	19,799,617	【うち人件費 18,444,789 うち減価償却費 577,808】					
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 宅地開発等事業者							
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 一定の基準をもって適正に指導するとともに、応分の負担を要請することにより、公共公益施設及び良好な環境の整備が行われています。							
評価指標	指標名				R1年度実績値	／	R1年度計画値	単位
	事前協議申請件数				16	／	25	件
	宅地開発行為等調整会議回数				2	／	2	回
実施内容	建築、開発行政の事務 限定特定行政庁、事務処理市として建築確認や都市計画法等の審査を行いました。							
	1 申請等実績							
			H29	H30	R1			
	確認申請	四号建築物	11件	3件	3件			
		工作物	0件	0件	0件			
	都市計画法許可		72件	93件	84件			
	宅地造成等規制法許可		18件	33件	30件			
	事前協議		28件	21件	16件			
	宅地開発行為等調整会議		4回	3回	2回			
	建設リサイクル法届出		161件	217件	164件			
	地区計画区域内整備計画届出		113件	110件	113件			
	優良宅地認定		0件	0件	0件			
	長期優良住宅認定		119件	151件	138件			
	低炭素建築物認定		3件	1件	3件			
	後退用地要綱届出 注)1		53件	63件	85件			
省エネ法届出		4件	3件	3件				
研修会、協議会等出席		47回	42回	40回				
注)1 後退用地要綱届出は平成27年4月から実施しています。								
2 監視等実績								
		H29	H30	R1				
建築物等パトロール		8回	20回	6回				
造成工事等パトロール		16回	10回	11回				
建設リサイクルパトロール		2回	2回	2回				
※H30の建築物等パトロールにはブロック塀パトロールが含まれる為回数が多くなっています。								
3 宅地開発行為等に関する指導要綱を条例化しました。								
事業の評価	妥当性評価	建築や開発行為に対する指導、監督という観点から市が実施すべき事業です。						
	有効性評価	宅地開発等を行う者に対して、一定の基準を持って指導することは、公共公益施設及び良好な住環境の整備促進に有効です。						
	効率性評価	関係各課への回覧部数を増やしたり、事前の調整を行うことで審査の効率化を図り、審査期間の短縮に努めました。						
事業費	左の財源内訳							
	673,435	国県支出金	地方債	その他	一般財源			
		0	0	0	673,435			

主要事業No 167

主要事業No 167

171	款・項・目	8・4・7	目名	建築開発費	目の決算額		171
	細事業名	4・1 公共施設管理営繕事業					
	細事業コスト	3,617,809 【うち人件費 3,147,789 うち減価償却費 100,488】					
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 公の施設						
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 予防保全事業を取り入れることにより事後保全事業を減らし、公共施設の長寿命化だけでなくライフサイクルコストの縮減を図ります。						
評価指標	指標名		R1年度実績値	/	R1年度計画値	単位	
	施設営繕データの更新		1	/	1	回	
				/			
				/			
実施内容	<p>1 FM営繕計画システムによる市有施設の保全情報の一元管理</p> <p>(1) 各施設所管に短期修繕計画のヒアリングを実施しました。 施設所管課：14課 対象施設：100施設 ヒアリング内容：令和3年～令和5年度短期修繕計画</p> <p>(2) 短期修繕計画のヒアリング及び現地調査に基づき修繕計画の優先順位付けを行いました。</p> <p>(3) 営繕計画システムのデータベースの更新を行いました。</p> <p>2 研究会、研修会及び協議会への参加 ファシリティマネジメント関連研修会等への参加 愛知県公共建築推進協議会：2回</p>						
事業の評価	妥当性評価	市が所有する膨大な施設をデータベース化で一元管理して計画的な保全を行うことは、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	FM営繕計画システムを活用することで、膨大な施設の計画的な管理や建物に関する情報を保存することができました。					
	効率性評価	FM営繕計画システムを運用することで、ライフサイクルコストを意識した営繕計画の策定やメンテナンス費用の削減を図りました。					
事業費	左の財源内訳						
	353,854	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	0	353,854		

主要事業No 182

主要事業No 182

172	款・項・目	8・5・1	目名	住宅管理費	目の決算額	120,780,196	172																																																																																														
	細事業名	5・5 災害に強い住宅建設推進事業																																																																																																			
	細事業コスト	20,945,400 【うち人件費 6,689,052 うち減価償却費 213,537】																																																																																																			
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 特に地震に不安のある民間住宅 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 地震に強い住宅への改善が行われ、災害に強い安全な住宅地が形成されています。																																																																																																				
評価指標	指標名	R1年度実績値	／	R1年度計画値	単位																																																																																																
	耐震診断実施件数	16	／	101	件																																																																																																
	耐震改修工事実施件数	7	／	40	件																																																																																																
実施内容	「大府市建築物耐震改修促進計画」に基づき建築物の耐震化を促進しました。 1 民間木造住宅無料耐震診断 16件 対象：昭和56年5月31日以前着工の民間木造住宅 2 民間木造住宅耐震改修費補助 7件 対象：耐震診断判定値が1.0未満の民間木造住宅（うち段階改修費補助 1件） 民間木造住宅診断、改修実績（1.5、1.0、0.7は耐震診断の判定値） <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">診断 件数</th> <th>安全</th> <th>一応安全</th> <th>やや危険</th> <th>倒壊の 危険あり</th> <th rowspan="2">改修費 補助 件数</th> <th colspan="2">うち上乗せ 補助件数</th> </tr> <tr> <th>1.5以上</th> <th>1.5未満</th> <th>1.0未満</th> <th>0.7未満</th> <th>高齢者</th> <th>市内業者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>～H27</td> <td>1329</td> <td>9</td> <td>98</td> <td>269</td> <td>953</td> <td>266</td> <td>63</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>84</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>83</td> <td>24</td> <td>8</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>25</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>23</td> <td>17</td> <td>6</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>30</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>30</td> <td>13</td> <td>8</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>16</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>16</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,484</td> <td>9</td> <td>98</td> <td>272</td> <td>1,105</td> <td>327</td> <td>88</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>—</td> <td>0.6%</td> <td>6.6%</td> <td>18.3%</td> <td>74.5%</td> <td>—</td> <td colspan="2">—</td> </tr> </tbody> </table> 3 民間非木造住宅耐震診断・耐震改修費補助 耐震診断費補助：1件 耐震改修費補助：0件 4 広報やローラー作戦による耐震診断、改修案内の実施 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広報掲載回数</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>ローラー作戦</td> <td>森岡自治区地内等</td> <td>共和東自治区地内等</td> <td>共和西自治区地内等</td> </tr> <tr> <td>無料相談会</td> <td>1回(5組)</td> <td>1回(2組)</td> <td>1回(4組)</td> </tr> </tbody> </table> 5 研修会参加等による体制づくり 研修会等：6回 6 民間建築物吹付けアスベスト等調査費補助：0件 7 耐震シェルター整備費補助：0件 8 三世帯住宅支援事業費補助：2件 9 ブロック塀等除却費等補助：22件							年度	診断 件数	安全	一応安全	やや危険	倒壊の 危険あり	改修費 補助 件数	うち上乗せ 補助件数		1.5以上	1.5未満	1.0未満	0.7未満	高齢者	市内業者	～H27	1329	9	98	269	953	266	63	—	H28	84	0	0	1	83	24	8	18	H29	25	0	0	2	23	17	6	14	H30	30	0	0	0	30	13	8	10	R1	16	0	0	0	16	7	3	5	合計	1,484	9	98	272	1,105	327	88	47	割合	—	0.6%	6.6%	18.3%	74.5%	—	—			H29	H30	R1	広報掲載回数	1回	1回	1回	ローラー作戦	森岡自治区地内等	共和東自治区地内等	共和西自治区地内等	無料相談会	1回(5組)	1回(2組)	1回(4組)
年度	診断 件数	安全	一応安全	やや危険	倒壊の 危険あり	改修費 補助 件数	うち上乗せ 補助件数																																																																																														
		1.5以上	1.5未満	1.0未満	0.7未満		高齢者	市内業者																																																																																													
～H27	1329	9	98	269	953	266	63	—																																																																																													
H28	84	0	0	1	83	24	8	18																																																																																													
H29	25	0	0	2	23	17	6	14																																																																																													
H30	30	0	0	0	30	13	8	10																																																																																													
R1	16	0	0	0	16	7	3	5																																																																																													
合計	1,484	9	98	272	1,105	327	88	47																																																																																													
割合	—	0.6%	6.6%	18.3%	74.5%	—	—																																																																																														
	H29	H30	R1																																																																																																		
広報掲載回数	1回	1回	1回																																																																																																		
ローラー作戦	森岡自治区地内等	共和東自治区地内等	共和西自治区地内等																																																																																																		
無料相談会	1回(5組)	1回(2組)	1回(4組)																																																																																																		
事業の評価	妥当性評価	建築物の耐震改修の促進に関する法律により、各公共団体が計画的に耐震化を進める必要があると定められており、市が実施すべき事業です。																																																																																																			
	有効性評価	木造住宅の無料耐震診断や耐震改修費補助を実施することにより、既存住宅を安心して安全に有効利用できるようになりました。																																																																																																			
	効率性評価	地元との調整を事前に行うことにより、ローラー作戦等を効率的に実施することができました。地元建築士の協力を要請することにより、無料相談会を開催できました。																																																																																																			
事業費	左の財源内訳																																																																																																				
	14,005,932	国県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																
		8,201,912	0	0	5,804,020																																																																																																

主要事業No 166

主要事業No 166

173	款・項・目	8・5・1	目名	住宅管理費	目の決算額		173
	細事業名	2・1 市営住宅管理・整備事業					
	細事業コスト	117,173,966 【うち人件費 13,528,105 うち減価償却費 60,730,930】					
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	市営住宅 目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 高齢者・障がい者等に配慮した、利用しやすく良好な魅力ある市営住宅の改善を行い、適切に管理されています。						
評価指標	指標名		R1年度実績値	/	R1年度計画値	単位	
	入居募集戸数		14	/	15	戸	
	建築物保全に関する住宅工事・修繕件数		47	/	80	件	
				/			
実施内容	市営住宅管理戸数292戸						
	1 施設改修工事・委託						
	(1) 池之分住宅排水管改修工事						
	(2) 池之分住宅排水管改修工事監理委託						
	2 施設維持管理委託						
	消防設備点検、浄化槽保守点検、エレベーター保守点検、汚水管清掃、遊具点検、樹木せん定・除草、給水設備保守点検等						
3 施設整備修繕							
給水装置等修繕、施設・設備老朽化による修繕(47件)、退去修繕(19件)、退去修繕に合わせて住戸内バリアフリー化(1件)							
4 市営住宅空家募集							
		H26	H27	H28	H29	H30	R1
募集回数		2回	2回	2回	2回	2回	2回
募集戸数		13戸	12戸	13戸(18戸)	11戸(15戸)	16戸(20戸)	11戸(14戸)
応募者数		82人	57人	40人(66人)	38人(61人)	36人(60人)	19人(27人)
※H28からカッコ内は福祉枠を含む							
5 その他							
家賃口座振替（継続）H28：174戸 H29：175戸 H30：164戸 R1：180戸							
住宅相談対応（公営住宅入居希望等相談、入居者の要望・苦情等）							
事業の評価	妥当性評価	公営住宅法の定めにより、市営住宅の整備及び管理については、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	修繕を始めとした入居者からの要望等に対して迅速な対応を心掛け、適正な管理に努めたことにより、良好な住環境の形成に寄与することができました。					
	効率性評価	各住宅の入居者や自治会の協力により管理業務委託、修繕及び工事を効率的に実施することができました。					
事業費	左の財源内訳						
	61,125,276	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		9,299,000	0	35,015,891	16,810,385		

主要事業No 168

主要事業No 168